

ロボコンレッスンに関するお知らせ

『ステモンカップ2025』開催決定！

2025年度も『ステモンカップ2025』を開催することが決定いたしました。

アドバンスクラス以上の生徒が『ステモンカップ2025』に参加します。

アドバンスクラスの部は教室内でのステモンカップの実施、キッズエリートクラス以上の部は全国大会への出場者決定も兼ねたステモンカップの実施を予定しています。初めての参加になるアドバンスクラスの生徒には、講師が伴走をしてロボットの製作やルール理解の補助をいたします。



小学生ロボコン実行委員会（株式会社NHKエンタープライズ・科学技術館）主催の『小学生ロボコン』は、「高専ロボコン」「NHK学生ロボコン」「ABUロボコン」に続く第4のロボコンとして、2019年から新たに始まった小学生を対象にしたロボットコンテストです。

ステモンでは2023年度より、『小学生ロボコン』の公式予選会として、全国のステモン会員専用の予選会『ステモンカップ』を開催、優勝者は全国大会に参加いたしました。

ステモンカップではステモンで学んだ機構を活かしてロボットを制作することができました。優勝したときはとても嬉しかったです！全国大会では、他の人の面白いアイデアに触れ、チームで作戦を練り課題に挑むなど、初めての世界を経験することができました。



『ステモンカップ 2024』優勝
『小学生ロボコン全国大会出場』
菊池 透矢さん

ロボコンで全国大会出場権を獲得したときは、今までになかった達成感を感じ、すごく楽しかったです！全国大会では、二つの賞を狙いチームで取り組みました。協力してプログラミングロボット賞をいただきました。ステモンで学んだ歯車機構や、ロボット制御、アプリ開発などの経験を活かすことができました。



『ステモンカップ 2023』優勝
『小学生ロボコン全国大会出場』
山尾 結花さん



『小学生ロボコン』



『ステモンカップ』

ロボコンレッスンに関するお知らせ

ロボコンレッスンについて

アドバンス以上のクラスで、『ステモンカップ』のエントリーに向けた対策として特別レッスンを実施いたします。

■ 目的

期間中5回のレッスンを通じて、ロボットを制作し、『ステモンカップ』へのエントリーを目指します。

ステモンの学びを活かしてロボット制作を行い、トライ&エラーの繰り返しで粘り強くやり遂げる姿勢を身につけることが本レッスンの目的です。

■ 期間

レッスン13～レッスン17（7月14日～8月31日）

エリート・プロロボクラスは、期間中のお振替についてクラスを問わず柔軟にお受けできる場合があります。事前に各校舎までご相談ください

例）キッズエリート火曜日クラス → プロロボ1st土曜日クラス に振替

■ 費用

ロボコンレッスン参加費用として、別途 5,500円（税込）が必要です。

ロボコンレッスン開始月の受講料（7月度請求 6月27日引き落とし）に合算してご請求いたします。

内訳）『ステモンカップ』エントリー費用、専用カリキュラム、
ロボットキット（一人一台）、追加モーター、工作用素材、工具レンタル

■ レッソンの流れ

L13 ロボット制作

L14 ロボット制作

L15 ロボット改造

ーお盆期間 8/8～8/17ー（ご自宅にロボットを持ち帰り、改造の続きに挑戦）

L16 競技練習 ※ロボットを忘れずに持って来てください

L17 ステモンカップ競技実施

■ 教室無料開放日について

L15の期間、教室無料開放を実施いたします。

教室開放では、工作を自由に行うことができたり、大会で使用するフィールドで操作練習ができます。ぜひご参加ください！

申込みなどの詳細は、後日改めてご案内いたします。

■ エリート・プロロボの部 表彰式について

全国のステモン生の応募から選考を行い、下記の日程で表彰式をオンラインで行います。

9月14日(日) 18:00～18:30

詳細は改めてお知らせさせていただきます。

ロボコンレッスンに関するお知らせ

通常レッスンは、「つくること学ぶ」という方針のもと、のびのびと制作を行っていきます。
学んだことを活かしてロボット制作を行い、コンテストを目標に取り組むことで、達成感や成長を感じる機会を取り入れたいという想いで、『小学生ロボコン』に向けたレッスンを行うことといたしました。

実施したロボコンレッスンについて、ステモンにお通いの皆様から嬉しいお声を頂戴しております。

楽しくねばり強く取り組めた

成長を感じる、良い経験となった

その後のレッスンでも主体性や積極性がみられるようになった

- 新鮮な体験ができて楽しそうに取り組んでいました。
- 使ったことのない道具を使うことに価値を感じました。
- 家庭で楽しそうに試行錯誤したり練習したりする姿を見ることができました。
- 途中でリタイヤすると思ってましたが、最後まで頑張っていました。ロボットを制作する過程で、粘り強さを養えました。
- 自分だけの作品という達成感を味わうことができました。
- 友だちの競技を応援している姿を見ることができました。
- 競技前に「緊張する！」と言っていました。普段のレッスンだと楽しさはあっても緊張感はないと思います。貴重な体験ができました。
- 目標を達成するために課題に取り組めたことが良い経験となったと思います。

